

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

「音楽実技Ⅰ」と同様、講師のピアノ演奏や学校の音楽教師の経験、教科書教材の作編曲、読譜指導等の多様な実務経験を生かして、クラス授業（45分）と学びの進度に応じたピアノの個人レッスン（45分）とを交互に行います。クラス授業では、引き続き、ハンドサイン・階名唱に習熟しながら、短三和音や属七和音、カデンツ、和音記号・コードネームについて理解し、鍵盤での演奏方法を学びます。伴奏法では、基本的な単音伴奏に習熟し、それを応用したオルタネーティング・ベース、和音伴奏、右手重音、フィラーのある伴奏等にもチャレンジします。主教材は「冬げしき」（文部省唱歌）に総合技能として取り組みます。

個人レッスンでは「音楽実技Ⅰ」のピアノの基礎的な力をさらに伸ばし、弾き歌いの方法を中心に、保育・教育現場で役立つ音楽実技の能力を高めます。

授業計画

第1回	(クラス授業) ガイダンス、認知技能の学び方	(個人レッスン) 各進度に応じたレッスン
第2回	(クラス授業) 短調 minor・長調 major・音階 scale	(個人レッスン) 同上
第3回	(クラス授業) 短三和音・長三和音	(個人レッスン) 同上
第4回	(クラス授業) 属七和音と曲の終わり	(個人レッスン) 同上
第5回	(クラス授業) 3種類のカデンツ	(個人レッスン) 同上
第6回	(クラス授業) 全終止・半終止	(個人レッスン) 同上
第7回	中間実技試験	
第8回	(クラス授業) 和音記号・コードネーム	(個人レッスン) 同上
第9回	(クラス授業) 単音伴奏・和音伴奏	(個人レッスン) 同上
第10回	(クラス授業) オルタネーティング・ベースの伴奏	(個人レッスン) 同上
第11回	(クラス授業) フィラーのある伴奏	(個人レッスン) 同上
第12回	(クラス授業) 右手重音の伴奏	(個人レッスン) 同上
第13回	(クラス授業) 伴奏譜の作成	(個人レッスン) 同上
第14回	(クラス授業) 総合技能試験「冬げしき」	(個人レッスン) 同上
第15回	(クラス授業) 音楽実技のまとめ	(個人レッスン) 同上
第16回	期末実技試験	

到達目標

- (1) ピアノ鍵盤と楽譜との対応を理解し、指導を受けながら、できるだけ自分の力で楽譜を読み演奏できる。
- (2) 音名・階名の理解を深め、コードネームと和音記号について理解し、演奏することができる。
- (3) 単音伴奏をもとにオルタネーティング・ベース、右手重音、フィラーのある伴奏を演奏することができる。
- (4) リズム、音階の記譜を基に、大譜表に様々な伴奏譜を記譜することができる。

履修上の注意

- ・小学校教員免許取得のための選択必修科目（10単位必要）です。
- ・2年で履修する「子どもの歌と表現」につながる基礎的な内容を学びます。
- ・教育や保育の現場で求められる音楽の基礎的な力を身に付けます。

予習・復習

- (1) 音楽に触れている時間の長さや技能の定着とは比例します。練習時間を確保する意志の強さが必要です。
- (2) 音楽は耳からの記憶がスタートです。まずYouTubeなどで聴き曲をよく知ってから練習してください。
- (3) スポーツや語学と同じように、教わったことはすぐに反芻（はんすう）して再現することが効果的です。
- (4) 練習せずにレッスンを受けても無駄です。少なくとも1日あたり30分は練習することが望ましい。

評価方法

練習状況および授業態度（20%）、実技試験（50%）、基礎技能（15%）、音楽理論の提出物（10%）、学習記録（5%）を総合して評価します。

テキスト

クラス授業は、「音楽実技Ⅰ」に引き続き『ポケットいっぱいのおうた』をテキストとするほか、プリントを配布、個人レッスンは同じく継続して『大人のためのピアノ教本』（ドレミ楽譜）を使用し、進度に応じ授業内で教材を決定する。